

肝機能

AST(10～30U/L ↓)	…	肝臓+心筋や腎臓にもある
ALT(5～30U/L ↓)	…	肝臓の中に最も多い

幹細胞が壊れるとAST・ALTともに上昇↑(急性肝炎)		
AST>ALT…	…	肝硬変、肝臓がん等
AST<ALT…	…	慢性肝炎、脂肪肝等
ASTのみ上昇↑…	…	心筋梗塞、溶結性貧血等

腎機能

BUN(8～20.0mg/dl ↓)	…	たんぱく質を処理した老廃物
Cr(男0.5～1.0 ↓、女0.4～1.0 ↓)	…	筋肉を使った後の老廃物
eGFR(90.0ml/min/1.73m ² ↑)	…	腎臓の機能を示す指標

腎機能が悪いと排出✕→BUNとCr ↑、eGFR ↓)					
CKDステージ	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	ステージ5
eGFR	90以上	60～89	30～59	15～29	15未満
腎臓の働き(重症度)					
	正常	軽度低下	中度低下	高度低下	末期

膵機能

AMY【アミラーゼ】(血液：40～130、尿：55～547)		
…	…	膵臓と唾液腺で作られる消化酵素
炎症などで細胞が壊れる→アミラーゼが血中に↑		
P型	…	膵臓から分泌→急性肺炎、膵がん
S型	…	唾液腺から分泌→流行性耳下腺炎
アミラーゼ ↑ の時は型を測定する		

電解質

Na(135～145mEq/L)	…	身体の水分バランス
K(3.5～5.0mEq/L)	…	神経の伝達、筋肉・心臓の収縮
Cl(100～110mEq/L)	…	Naと連動、水分やpHの調整

	低値 ↓	高値 ↑
Na	浮腫性疾患、水中毒	脱水、尿崩症
K	代謝性アルカローシス、下痢・嘔吐	不整脈、腎不全、代謝性アシドーシス
Cl	代謝性アルカローシス、呼吸性アシドーシス	尿崩症

凝固

PLT(15～35万)	…	出血時に血液を固めて傷を防ぐ(一次止血)
PT(PT-INR)(10～12秒)	…	血管外の因子からおこる凝固
APTT(30～40秒)	…	血管内の因子からおこる凝固
FDP(180～320mg/dl)	…	凝固因子が増加しているか評価
Dダイマー(0.5 μg/ml)	…	血栓があるか評価

PT・APTT延長	…	DIC、重度の肝障害、ヘパリン使用時
FDP・Dダイマー ↑	…	血栓の形成(DVCなど)

血糖

BSグルコース(80～110mg/dl空腹時) …	…	血液に含まれるブドウ糖の濃度
HbA1c(4.6～6.2% ↓)	…	直近1～2か月の血糖の平均
HbA1cが6.5% ↑だと糖尿病		

栄養

Albアルブミン(4.0～5.0g/dl ↑)	…	血液中の60%を占めるたんぱく質
TP総蛋白(6.5～8.0g/dl)	…	血液中のたんぱく質の総量
3週間前の栄養状態、3.5g/dlは低栄養		
Alb ↓	…	肝機能障害、ネフローゼ症候群
Alb ↑	…	脱水の可能性
Alb ↓ CRP ↑	…	感染、炎症、術後など

貧血

RBC赤血球(男400～500、女380～480)	…	酸素を全身に運ぶ
Hb(男14～18、女12～16)	…	血中に含まれるたんぱく質
Ht(男40～50%、女35～45%)	…	血中の赤血球の容積の割合
高値↑なら多血症や脱水、低値↓なら貧血		

炎症反応

WBC(3300～9000)	…	細菌や異物を処理する
CRP(0.3mg/dl)	…	炎症が起こると血中に増加するたんぱく質

WBCはすぐに急増、CRPは6～12時間以内に急増		
感染初期	…	WBC ↑ CRP-
ピーク	…	WBC ↑ CRP ↑
感染後期	…	WBC ↓ CRP ↑